

# 「よくわかる “転ばぬ先の杖” 講座」

ご準備はできていますか？ 現場の声を聞いてみませんか？

判断能力が低下した高齢者においては、財産をはじめとする権利侵害を受たり、医療・介護や死後における“意思”を実現できなくなってしまうケースが多くみられます。

今回それらの対策としての「事前に備えるための制度」のしくみや活用の仕方、活用の意義や留意点、実際の活用場面、課題などについて、以下のとおり各方面の専門家にわかりやすくお伝えしていただきます。この機会にぜひご参加ください。 **一部・二部 両日の参加がお勧めです！（参加無料）**

■日時・場所：【第一部】平成29年11月4日 ホルトホール大分 4階 403会議室  
【第二部】 11月18日 同ホール 2階 セミナールームS

■対象：高齢者や親族、介護事業関係者、行政関係者、その他関心のある方

■定員：40名 **（※先着順：定員になり次第締め切らせていただきます。）**

■申込：電話・メールまたはFAX（下欄）でお申し込みください。

**（※電話・メールまたは申込書の参加希望欄で参加希望日の指定をお願いします。）**

■お問合せ・申込先：☎090-4774-5511 FAX 0977-26-4827（担当：青田）

E-mail: ansin@ctb.ne.jp

■主催：特定非営利活動法人 成年後見・権利擁護大分ネット（NPO大分あんしんねっと）

■後援：公益社団法人 大分県社会福祉士会 大分合同新聞社

【第一部】平成29年11月4日（土）～制度の活用までを理解する～

**講義Ⅰ「あんしんできる“備え”の方法」**（13:30～15:00）

※受付13:10～

講師 大分公証人合同役場 公証人 伊藤俊行 氏

各制度のしくみの概要および手続きについて、さらに実際の活用相談やその背景などを知ることにより、制度活用の必要性について理解を深めます。

**講義Ⅱ「“こうしてもらいたい”を残していれば…」**（15:10～16:40）

講師 みずほ内科・歯科クリニック 副院長 輪田順一 氏

認知症高齢者等の、健康な時からの意思を表出できていないと思われるような事態に置かれた、エンド・オブ・ライフに於いて事前に準備しておくべき事項について理解を深めます。

【第二部】平成29年11月18日（土）～制度活用の意義を理解する～

**講義Ⅲ「どう備えるか?、どう叶えてもらえるか?」**（13:30～15:00）※受付13:10～

講師 大分あおば法律事務所 代表弁護士 田中利武 氏

法律的な観点から各制度ならびに組み合わせ方等を理解するとともに、主に財産面における制度を活用した場合の意義や留意点などについて理解を深めます。

**講義Ⅳ「望む介護、“最期”、“その後”」**（15:10～16:40）

講師 権利擁護センターばあとなあ大分 運営委員 社会福祉士 松尾慶一 氏

各制度の実際の活用場面をもとに、主に生活・療養面などにおける制度を活用した場合の意義や留意点などについて理解を深めます。

●第一部と会場が異なりますのでご注意ください。

**参加申込書 FAX：0977-26-4827**

お名前	ご職業（お電話番号）			（	）
参加希望	<input type="checkbox"/> 両日	<input type="checkbox"/> 11/4のみ	<input type="checkbox"/> 11/18のみ	※ お電話は希望日の確認が必要な場合にのみ使用します。	

※いただいた個人情報は本事業の目的以外には使用しません。